

成果指標設定調書

【成果指標の設定】

成果指標設定年度 29 年度

市町村名	志木市			
提案事業名	志木駅前を中心としたアートによるまちのにぎわいづくり事業			
事業期間	30 年度	～	30 年度	
事業の必要性、目的	人口減少の中にあっても選ばれ続ける自治体を目指すため、本市の魅力を市内外に発信することを目的に、まちの玄関口となる志木駅の東口に位置するペDESTリアンデッキ周辺を活用したアートによるにぎわいづくりを展開し、新たな人の流れを創出します。			
成果指標	(成果を検証する指標) アート事業に関連する観光イベント入込客数			
	(成果検証の具体的な方法) アート事業に関連する観光イベント入込客数(人)により成果指標の達成度を検証			
	(上記の指標を設定した理由) 本事業は、魅力の創造及び発信を行うことにより新たな人の流れを創出し、にぎわいづくりに寄与することを主たる目的としていることから、達成度を図る指標として、来訪者(アート事業に関連する観光イベントの入込客数(人))が最も妥当な指標であると判断したため。 ●アート事業に関連する観光イベント入込客数:300人 内訳(アートお披露目会:150人、イルミネーション点灯式:150人)			
	(成果の目標値)			
	現状値 (30年1月現在)	0人	目標値 (31年3月時点)	300人
	(施設建設等の場合)			
	年間利用者数(目標)(人)		稼働率(目標)(%)	
住民への公表方法及び特記事項	ホームページにより公表			

【成果指標と構成事業の関連性】

平成30年度 構成事業

構成事業名	概要・成果指標との関連性	事業費(千円)
① ペDESTリアンデッキを活用したストリートアートによるにぎわい創出事業 間接補	新たなにぎわいづくり事業の方策として、志木駅前のペDESTリアンデッキ周辺を活用した話題性を生むアートを展開することで、新たな人の流れを創出し、駅前ににぎわいの創出につなげる。	1,451 (1,451)
② 志木駅東口駅前広場のイルミネーション装飾事業(拡充) 間接補	冬季に実施している志木駅東口駅前広場のイルミネーションアートをさらに拡充させ幻想的な空間を創出し、市内外に魅力を発信することで見物客を呼び込み駅前ににぎわい創出につなげる。	2,934 (2,934)
③	ハードソフト間接補	
④	ハードソフト間接補	
⑤	ハードソフト間接補	
⑥	ハードソフト間接補	
合計		4,385

【成果指標の達成見込み】

目標達成のための具体的な方策	広報紙への掲載やリーフレット配布などの全市的な情報発信と、地元商工会など関係機関と連携を図りながら効果的に実施していく。
成果指標の達成見込み	上記方策により、本市の魅力を創造し関係機関などとも連携した広報を行うことで、十分達成できると考える。

(記入上の注意)

【成果指標の設定】

- ・住民への公表方法は具体的に記述すること

【成果指標と構成事業の関連性】

- ・提案事業を構成する各事業(構成事業)について次のとおり分類すること

「ハード」 施設建設等が中心の事業（ハード事業）。

「ソフト」 主に人的要素を活用した活動でハード事業以外の事業（ソフト事業）。

「間接補」 青年会議所、商工会議所・商工会、自治会、NPO等の公共的団体が実施する事業に対して市町村が補助金を交付するもの（間接補助事業）。

- ・事業費は補助金を要望する単年度の事業費のみ記入すること。また、間接補助事業の場合には、事業費の下に()書きで、市町村の負担額又は補助額を記入すること。